

7,000名近い有権者が遅れて投票用紙を受け取ります ソフトウェアのエラーにより、一部ライセンス情報が選挙管理人に送信されませんでした

オリンピア - 7,000名近くの有権者が、今週、ファーストクラスメールにより2月に開かれる特別選挙の投票用紙を受け取ります。これは Department of Licensing の運転免許データベースシステムのソフトウェアエラーにより、情報がワシントン州の Motor Voter law (ドライバー投票者法) のもと、Office of the Secretary of State (OSOS、州務長官事務所) の Voter Registration Division (有権者登録課) に送信されなかったためです。

OSOS と DOL は、有権者が2月の特別選挙に間に合うように投票用紙を受け取れるよう取り組んでいます。データエラーが発見されたのは1月下旬のことです。DOL の Information Services team (情報サービスチーム) が OSOS と共に調べた結果、利用者が氏名を変更 (住所の変更の有無を問わない) し、新しい運転免許証番号を交付されたときに、これらの変更が DOL のシステムで反映されていても、OSOS のシステムに送信されていなかったことが分かりました。エラーが確認されてから、DOL チームは1月26日の週末にかけて、30年間使用しているドライバデータベースシステムの修正版の開発およびテストを行いました。ソフトウェアの修正版は1月30日の午後に利用が開始されました。

DOL と OSOS は協働して2つのシステムにある有権者のデータを突き合わせました。影響を受けた有権者は州全体で6,969名に上ることが判明しました。これらの有権者は、2018年2月の選挙に向けて、今週投票用紙を受け取るための特別な対応を受けることになります。

「私たちは Office of the Secretary of State と緊密に連携し、この問題を特定および解決しました」 DOL 長官の Pat Kohler は述べます。「私たちはこのようなエラーが発生したことを遺憾に思っており、日々州務長官に送信される投票者情報が完全かつ正確であるかを監視する新しい管理機能を導入しました。このエラーは、今年9月に予定されている、私たちが数十年にわたって利用してきた運転免許データベースシステムの入れ替えの重要性を訴えるものでした。」

Kohler は、DOL がこの状況における OSOS との協力と、解決に向けて一丸となって取り組むという彼らの意思に感謝すると述べています。また、DOL は投票用紙を受け取っていない影響を受けた有権者への投票用紙の郵送費用を郡監査官に返済します。

有権者は住所、氏名、登録情報を (<http://myvote.wa.gov>) で確認することができます。有権者のステータスに関する疑問や懸念は、郡監査官までお問い合わせください。郡監査官の一覧はこちらからご覧いただけます：<https://www.sos.wa.gov/elections/viewauditors.aspx>

追記：

Department of Licensing と Office of the Secretary of State は本日午後 2 時 30 分より、共同で電話記者会見を行い、この問題に関して詳しくお話しし、ご質問にお答えします。メディアの皆様は、(360) 407-3815 にお電話のうえ、会見 PIN: 56650#を入力すると、会見にご参加いただけます。この会見に参加する職員は Department of Licensing 長官の Pat Kohler とワシントン州選挙管理者 Lori Augino です。

#

Department of Licensing に関する詳細は、ウェブサイト (dol.wa.gov) をご覧ください。